

# ノリ養殖環境速報 KH-29-16 (播磨灘)

平成30年4月6日 発行

※平成29年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています。

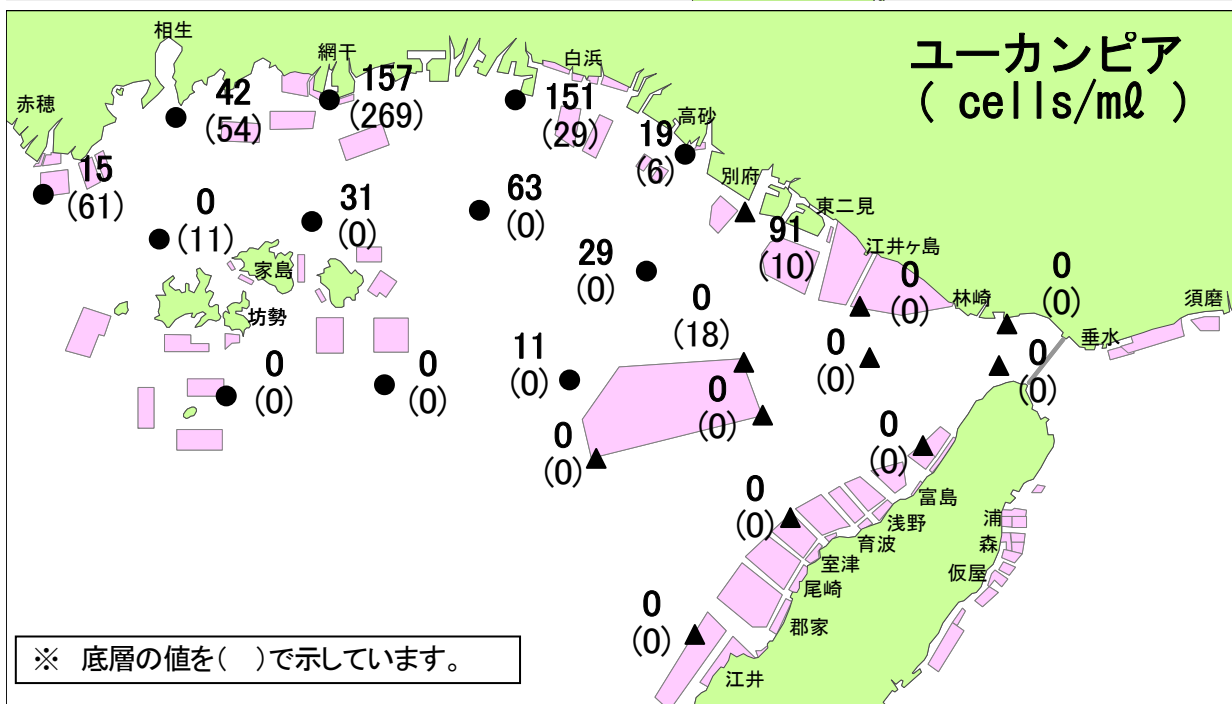
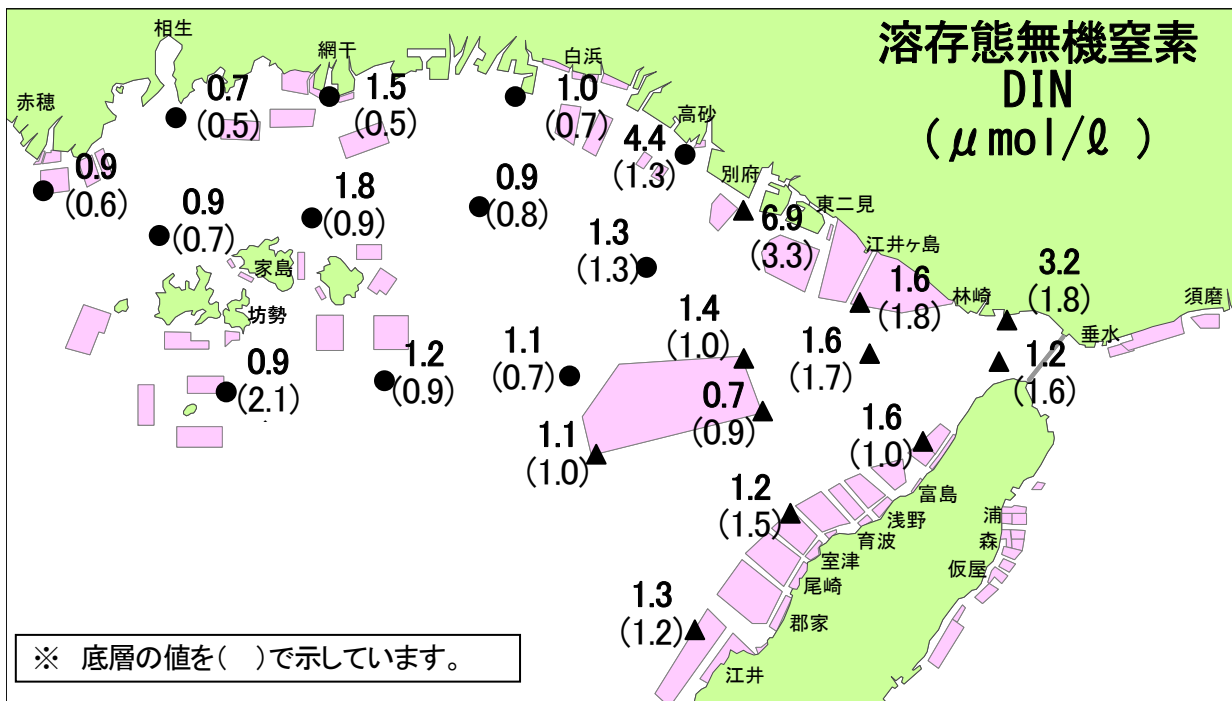
調査年月日：4月3、5日

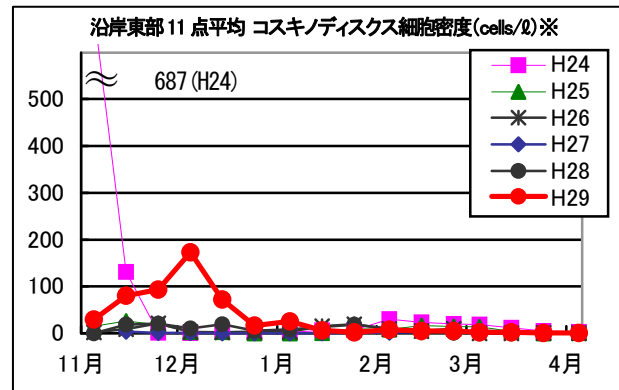
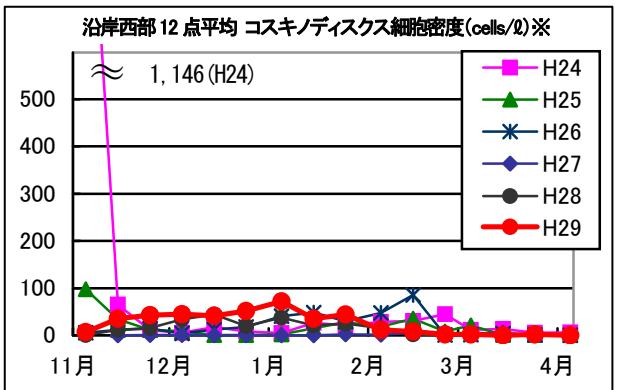
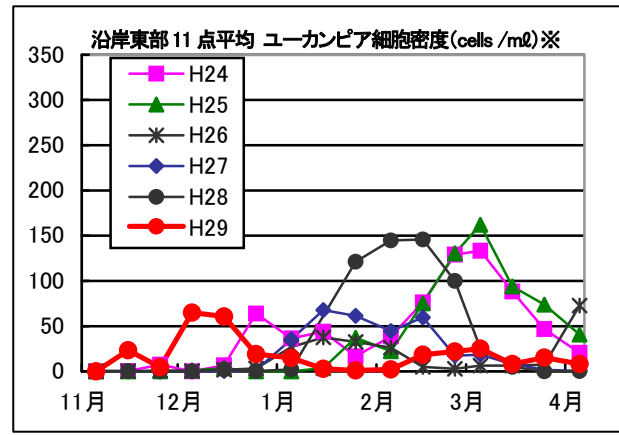
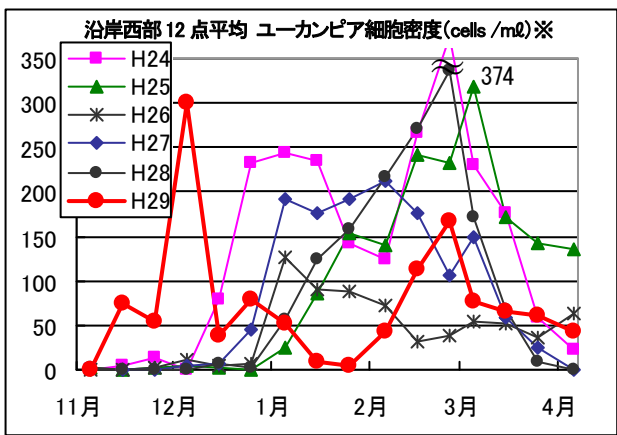
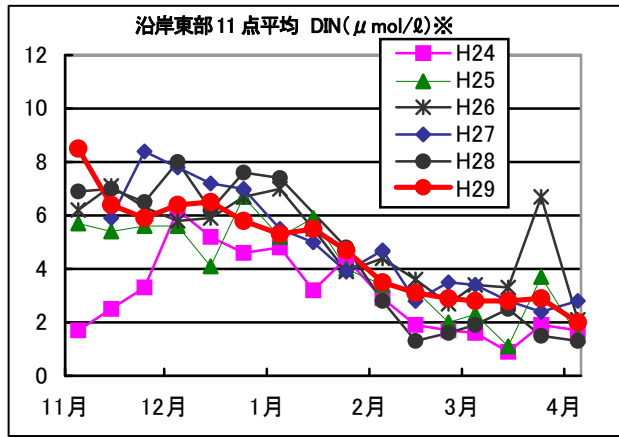
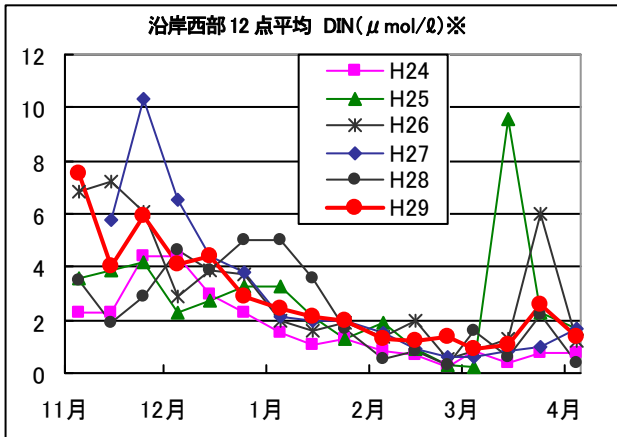
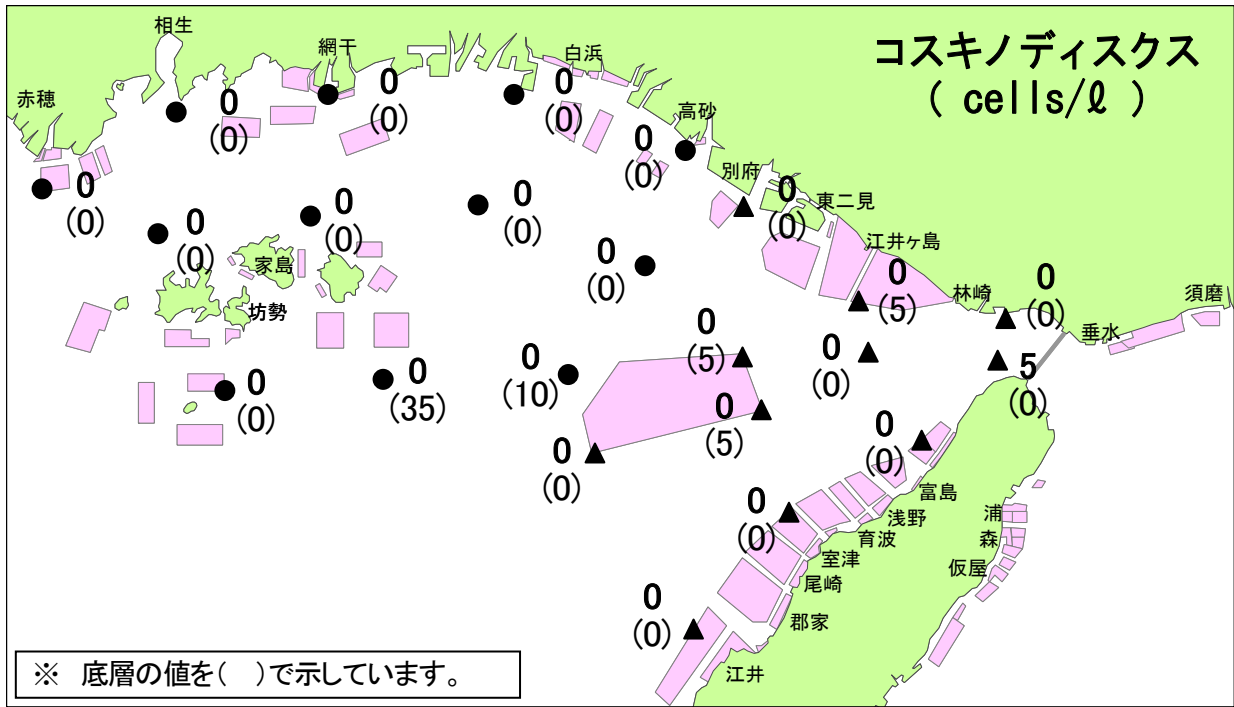
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

**概況** 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、北部沿岸河口域表層付近では高い値を示す海域もありますが、その他の海域では概ね $2\mu\text{mol/L}$ 未満の低いレベルとなっています。

大型珪藻のユーカンピアは北部沿岸域を中心に確認されましたが、発生レベルは低下しています。コスキノディスクスワイレーシーは散見される程度です。

水温は、白浜以西では $12.2\sim 14.1^\circ\text{C}$ 、家島諸島周辺では $12.4\sim 14.0^\circ\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $11.0\sim 12.0^\circ\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $10.7\sim 11.5^\circ\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $11.0\sim 12.5^\circ\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

※ 水平分布状況は、都合により作成できませんでした。

### **播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み**

播磨灘北部沿岸（加古川～姫路）ではユーカンピアゾディアクスが多く出現している海域もありますが、全般に減少傾向です。コスキノディスクスワイレシーは散見される程度です。

播磨灘北部沿岸域河口域表層の DIN 濃度は、前回の調査時よりも減少しており、ほとんどの海域で、概ね  $2\mu\text{mol/L}$  未満のとなっています。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並か多いとされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、低下または低位現状維持と考えられます。

### **週間天気予報** 気象庁 4月5日 16時33分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間（4/6～4/12）の近畿地方は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日がある見込みです。

最高気温、最低気温ともに、平年並か平年より高く、かなり高い日もありますが、期間の中頃は平年より低い比がある見込みです。

降水量は、平年並か平年より多いでしょう。

### **その他の情報**

- ・岡山県の調査結果は 2/28 から更新されていません。
- ・香川県の調査については、以下の URL から参照してください。  
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L}$  =  $\mu\text{g}\cdot\text{at/L}$  =  $\mu\text{M}$

#### **【今後の予定】**

- ・今回で平成 29 年度ノリ漁期のノリ養殖環境速報は終了します。

\*この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下の URL にパソコン等からアクセスして下さい。  
<http://www.hyogo-suigi.jp/>